

NCBホールオープニングシリーズ

# 篠崎史紀 & 田中美江

## デュオ・リサイタル



[Program]

ブラームス

F.A.Eソナタより 第3楽章「スケルツォ」ハ短調 WoO.2  
ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第1番 ト長調 Op.78 「雨の歌」  
ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第2番 イ長調 Op.100  
ピアノとヴァイオリンのためのソナタ第3番 ニ短調 Op.108

【日時】

2026年 8月29日(土)

14:00開演(13:30開場)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

【チケット】

全席指定 **4,500円(税込)**

【取扱い】イープラス <https://eplus.jp>

※店頭購入:ファミリーマート

※NCBホール事務局等での窓口販売はございません。

【会場】



NCB HALL

## 二人の名手が織りなす、ブラームスのロマンティックな世界へ

ドイツ・ロマン派の巨匠ヨハネス・ブラームスが書いたピアノとヴァイオリンのためのソナタ全曲演奏会。ヴァイオリンとピアノが対等な立場で濃密な対話を繰り広げるこの傑作群を、“マロ”の愛称で親しまれる世界的名手、篠崎史紀と、福岡が誇る実力派ピアニスト、田中美江の演奏でお届けします。二人の円熟のアンサンブルを、博多駅前に新しく生まれたNCBホールの豊かな響きと共にお楽しみください。

### 篠崎 史紀 (Violin)

Fuminori “Maro” Shinozaki



北九州市出身。愛称は“まろ”。3歳より両親の手ほどきを受け、1981年ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサート・デビューを飾る。その後ヨーロッパの主要なコンクールで数々の受賞を果たしヨーロッパを中心にソロ、室内楽と幅広く活動。1988年帰国後、群響、読響のコンサートマスターを経て、1997年

N響のコンサートマスターに就任。以来“N響の顔”として国内外で活躍し、2025年3月に退団した。

コンサートの企画、指揮活動も積極的に行っており、2004年より銀座・王子ホールでスタートした「MAROワールド」では毎回ひとりの作曲家に焦点を当て展開、公演回数は50回を超え、即時売売の人気企画となっている。同シリーズから結成された弦楽合奏団「マロカンパニー」は、指揮者無し的大型室内楽「マロオケ (Meister Art Romantker Orchester)」まで発展。また、毎年1月にはウィーンのニューイヤークンサートさながらに、ヴァイオリンを弾きながら指揮をする「篠崎MARO史紀のニューイヤークンサート」を開催している。

教育の分野でも情熱を注いでおり、1996年東京ジュニアオーケストラを立ち上げ音楽監督に就任。2025年5月には、あるべき音楽教育の普及、音楽を学び楽しむを通じ、次世代の子どもたちへの育成活動を目的とした「一般社団法人Music Force」を設立し理事長に就任。2024年には自身初となる絵本「おながくは まほう」(絵:村尾亘/リトルモア刊)を出版し、アーティストとして多彩な活動を展開している。

九州交響楽団ミュージック・アドバイザー、リーデンローズ音楽大使。

[公式WEBサイト]

<https://maro.shinozaki-vn.com/>

### 田中 美江 (Piano)

Yoshie Tanaka



福岡市出身。5歳で福岡音楽学院にてピアノを始める。

1977年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。その後、旧西ドイツのデットモルト国立音楽大学へ留学し、1982年に最高位で卒業。ピアノと室内楽を故末永博子、中村順子、徳丸聰子、故斎藤秀雄、故F・W・シュヌアの各氏に師事。

1982年第1回ブラームス国際コンクールにてクラリネットの柳瀬洋と共に二重奏部門で最高位を受賞。1983年の帰国後、「ミュージックステーション福岡」を設立し、福岡を中心に演奏活動と音楽教育活動を幅広く行う。

演奏家としては、ピアノソロのみならず、九州交響楽団をはじめとする地元オーケストラと共演。室内楽でもヴァイオリンの篠崎史紀、塩貝みつる、チェロの秋津智承、フィルハーモニア・カルテット・ベルリン、ヘンシェル・カルテット、サワ・カルテットといった国内外の名手たちと共演し好評を得る。後進の育成にも積極的に取り組み、門下から多くの優秀なピアニストを輩出。2005年からは、「楽興の時 室内楽セミナー」講師として、ヴァイオリンの篠崎史紀と共に若手演奏家の指導も行っている。

また、ソプラノの小野弥生と画家の保坂真紀と共に、子供から大人までが楽しめる音楽と絵画の融合を目指して2010年に結成した「Art Musica(アートムジカ)」は、ユニークな試みとして高い評価を受けており、全国各地で590回の公演を行っている。

これまでに純真短期大学教授、福岡女子短期大学特任教授を務める。

著書としては、「これだけは知ってほしい楽典 はじめの一步」(カワイ出版、2017年)、「やさしい童謡唱歌集」(同文書院、2019年)がある。(木村鈴代他との共著)

現在、福岡国際音楽大学客員教授。

 **NCB HALL** [主催・お問い合わせ]  
一般財団法人NCBホール財団  
TEL 092-402-8886

NCBホール (西日本シティビル 地下2階)

福岡市博多区博多駅前3丁目1-1

・JR、市営地下鉄「博多駅」より徒歩4分(地下直結)

・博多バスターミナルより徒歩5分(地下直結)

※お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

